

XI 花き類、樹木類の病害虫防除

1 花き

アイリス

———— 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|----|---|------|----|----|
| 作型・病害虫名 | | | | | | | | | | | | |
| 促成 12 月 出し | | | | | | | | × | × | ● | ↑ | |
| | | | | | | | | 冷蔵 | | 球根植え | | 収穫 |
| 白青 か 絹 び 病 病 | | | | | | | | | | | | |

白絹病

留意事項

- 1 未熟な堆肥を施用すると発病を助長する。
- 2 土壌表面に湿気があり、土壌温度が20℃以上の場合、発生しやすい。
- 3 土壌pHがやや酸性になると発生が増える。
- 4 連作すると発生が多くなるため、できるだけ連作を避ける。
- 5 菌核が生じる前に発病株を直ちにほ場外へ持ち出す。

防除方法

- 1 被害株は株元の土とともに ほ場外に持ち出し処分する。
- 2 土壌消毒を行う。(XⅢ土壌消毒 参照)
 - ・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 ☐
 - 【花き類・観葉植物 20～30kg/10a は種または植付前/1回】
- 3 予防的に下記の薬剤を施用する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) ☐ 1 4
 - 【花き類・観葉植物 500～1,000倍 株元かん注 3L/m² -/5回】
 - ・ [タチガレン液剤](#) ☐ 3 2
 - 【1,000～2,000倍 土壌かん注 3L/m² 定植時及び生育期/6回】

青かび病

防除方法

- 1 無病の球根を選ぶ。
- 2 冷蔵処理を行う場合は、湿度が高くなりすぎないように空調を行う。また、処理中に球根を入れ替えて罹病球を除去する。
- 3 植付け前に下記のいずれかの薬剤で球根を処理する。
 - ・ [オーソサイド水和剤80](#) ☐ M 4 【400倍 30分間球根浸漬 植付前/8回】
 - ・ [ベルコートフロアブル](#) ☐ M 7 【100倍 10分間球根浸漬 植付前/1回】または、
 【200倍 30分間球根浸漬 植付前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。